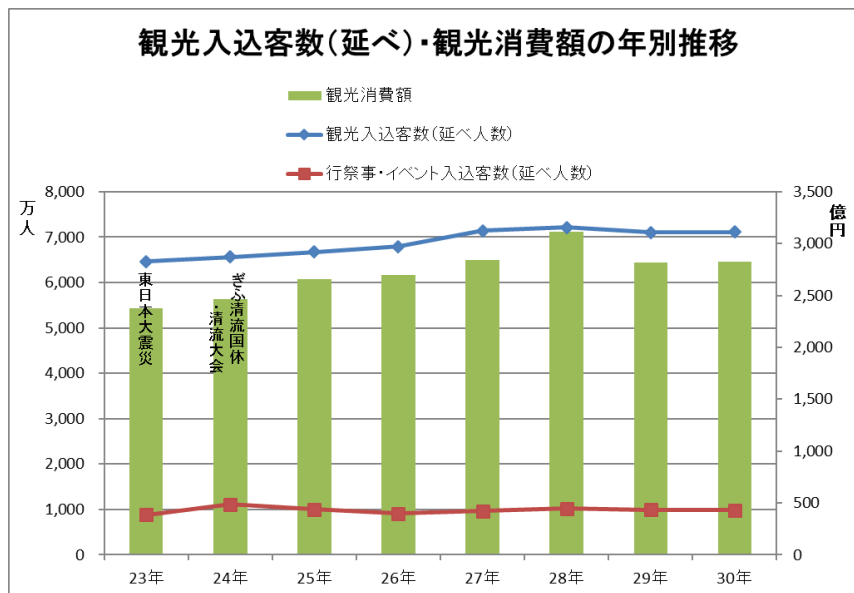


令和元年12月27日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
観光企画課	政策企画係	中野、酒向	内線 3059 直通 058-272-8079 FAX 058-278-2674

平成30年岐阜県観光入込客統計調査について

平成30年岐阜県観光入込客統計調査の結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 観光入込客数（延べ）・観光消費額



区 分		平成30年（対前年比）	参考：平成29年
観光入込客数（延べ人数）		7,100万人（△0.1%）	7,104万8千人
行祭事・イベント入込客数(延べ人数)		986万5千人（△0.8%）	994万6千人
観光消費額	全 体	2,821億85百万円（0.1%）	2,818億70百万円
	日帰り客	1,377億37百万円（△7.6%）	1,490億22百万円
	宿泊客	1,444億48百万円（8.7%）	1,328億円49百万円

※平成23年の調査より、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」を導入し、調査手法を変更している。

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

○観光入込客数（延べ人数）は、7,100万人（対前年比△0.1%）、
行祭事・イベント入込客数（延べ人数）は、986万5千人(対前年比△0.8%)と、
いずれも減少した。

※なお、観光入込客数（実人数）は、4,602万8千人（対前年比+1.0%）と、前
年に比べ増加している。

○観光消費額の総額は2,821億85百万円（対前年比+0.1%）で、うち日帰り客分は1,377億37百万円（対前年比△7.6%）、宿泊客分は1,444億48百万円（対前年比+8.7%）であった。

○主な傾向は、以下のとおり。

- ・平成30年7月豪雨災害や夏季の猛暑、台風の影響があったものの、朝ドラの放送や県内観光施設の新規オープン・リニューアルオープンによる集客効果により、入込客数は概ね前年並みを保った。
- ・観光消費額は、一人当たりの平均消費額について日帰り客分が減少した（3,719円→3,428円）反面、宿泊客分は増加となった（24,217円→24,723円）。全体の観光消費額は、宿泊客数の消費額単価及び入込客数の増加に伴い、前年と比較し微増となった。
- ・外国人観光客（実人数）については、中国人観光客が団体旅行・個人手配旅行ともに大きく増加したほか、客単価の高い欧米からの観光客が飛騨地域を中心に好調であり、増加となった。

2 観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：29年	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	678.2	1	719.7
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	509.4	2	494.2
3	高山市街地エリア	344.8	3	361.3
4	白川郷合掌造り集落（白川村）	188.8	4	176.1
5	千代保稲荷神社（海津市）	170.0	6	157.3
6	湯の華アイランド（可児市）	162.2	5	163.4
7	伊奈波神社（岐阜市）	147.4	7	149.9
8	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	140.7	8	134.1
9	世界イベント村ぎふ（岐阜メモリアルセンター）（岐阜市）	136.7	9	128.7
10	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	122.5	10	123.3

○観光地点毎の入込客数は、1位から4位までの地点の順位に変動はなかった。

○NHK連続テレビ小説「半分、青い。」の放送により、舞台のロケ地となった恵那市岩村町では、入込客数が大幅に増加した。

*参考：岩村城下町（恵那市） 33.5万人（前年比195.4%増）

○清流長良川あゆパーク（郡上市）、道の駅「パレットピアおおの」（大野町）の新規オープンや岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（各務原市）、ぎふ清流里山公園（美濃加茂市）のリニューアルオープンにより、立地市町村を中心に入込客数が増加した。

○平成30年7月豪雨災害によるJR高山線運休や台風21号などの影響により、飛騨圏域では入込客数が減少した。

3 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数	参考：29年	
			順位	入込客数
1	長良川花火大会（岐阜市）	65.0	1	70.0
2	元気ハツラツ市（大垣市）	44.5	5	33.0
3	十万石まつり	30.0	23	12.0
4	高山祭	29.6	2	43.2
5	郡上おどり	29.1	6	29.6
6	道三まつり（岐阜市）	29.0	3	41.0
7	ぎふ信長まつり（岐阜市）	28.0	4	35.0
8	土岐美濃焼まつり	27.0	9	25.0
9	刃物まつり（関市）	26.0	8	26.0
10	濃尾大花火（羽島市・一宮市市民花火大会）	24.0	10	24.0

○行祭事・イベント毎の入込客数の県内トップは、昨年と同じ「長良川花火大会」（岐阜市）で65万人、2位は「元気ハツラツ市」（大垣市）で45万人、3位が十万石まつり（大垣市）で30万人となった。

○天候によって入込が大きく変動するため、前年に日並びや天候に恵まれた「高山祭」のほか、「道三まつり」は順位を下げた。

4 参考

県内観光客の動向をより詳細に分析するため、観光入込客数を実人数に換算し、旅行者分類別、県内圏域別の入込客数、外国人宿泊客数等を算出した。

※詳細は、別添「参考表」参照

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

<観光入込客数（実人数）>

区分	平成30年（対前年比）	参考：平成29年
全体	4,602万8千人（1.0%）	4,555万7千人
日帰り客	4,018万5千人（0.3%）	4,007万1千人
宿泊客	584万3千人（6.5%）	548万6千人
【うち外国人】	【101万9千人（21.6%）】	【83万8千人】

※宿泊客の「うち外国人」については、観光庁の宿泊旅行統計調査における本県の外国人延べ宿泊者数をもとに算出している。（平成30年外国人延べ宿泊者数 148.4万人）